

2018年7月26日

日本生体医工学会関西支部 支部長殿

関西大学大学院 生体材料学研究室

大高 晋之

TEL: 090-6242-8388

E-mail: otaka.a@kansai-u.ac.jp

第2回 国際会議補助の申請にあたって

Finland-Japan Workshop 参加報告書

- ・ 開催会議名 Finland-Japan Workshop:
The next generation medical engineering in biomaterials
Joint with 3rd Bone and Biomaterials Workshop
- ・ 開催日時 2018年6月17日 ~ 21日
- ・ 開催場所 University of Oulu (Address: Aapistie 5, Oulu, Finland)

2018年6月17—21日にオウル大学病院で開催された Finland-Japan Workshop: The next generation medical engineering in biomaterialsに参加した。自身の研究に関連した薬物送達については6演題の発表があり、いずれも独創的な内容であった。薬剤送達システムや骨組織再生足場に、日本では体内に投与する材料としての印象がうすいシリカを用いた研究報告が多数あり、主力となる研究材料が国内と異なる点が興味深かった。また、人口密度が低いフィンランド（日本の1/20）における輸血血液の供給体制について、トナカイの角の基質タンパクを骨再生の足場に応用した再生医療ベンチャーなど、フィンランドならではの内容を聴講し、国によって求められる医療の形が大きく変容することを実感した。最終日、OuluHealth Labs (<http://ouluhealth.fi/labs/>)を見学した。本施設は公募により選出された企画に対して機器の試作・開発をバックアップするスタートアップ支援施設で、開発中の薬剤管理システムや新生児モニタリング用パッチの試作機などを体験した。充実した開発設備に大いに刺激を受けた。